

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成27年2月26日(2015.2.26)

【公表番号】特表2015-501362(P2015-501362A)

【公表日】平成27年1月15日(2015.1.15)

【年通号数】公開・登録公報2015-003

【出願番号】特願2014-538788(P2014-538788)

【国際特許分類】

C 08 J	3/20	(2006.01)
C 08 L	21/00	(2006.01)
C 08 K	3/36	(2006.01)
C 08 K	5/54	(2006.01)
B 60 C	1/00	(2006.01)

【F I】

C 08 J	3/20	Z
C 08 L	21/00	
C 08 K	3/36	
C 08 K	5/54	
B 60 C	1/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成26年12月12日(2014.12.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ゴム組成物の調整方法であって、

a. 少なくとも1つの予備混合工程において、

(i) 少なくとも1種の天然または合成ゴムポリマー、

(ii) シリカフィラー、

(iii) シリカカップリング剤、および

(iv) 少なくとも1種の加硫化促進剤をブレンドする工程と、

b. 続いて、最終混合工程において硫黄硬化剤をブレンドする工程とを含み、

前記最終混合工程は、硫化促進剤を一切含まないことを特徴とするゴム組成物調整方法。

【請求項2】

前記少なくとも1種の加硫化促進剤は0.1~10phrで存在することを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記少なくとも1種の加硫化促進剤は、1,3-ジフェニルグアニジン(DPG)、テトラメチルチウラムジスルフィド(TMTD)、4,4'-ジチオジモルホリン(DTD M)、テトラブチルチウラムジスルフィド(TBT D)、ベンゾチアジスルフィド(MBT S)、2-(モルホリノチオ)ベンゾチアゾール(MBS)、N-tert-ブチル-2-ベンゾチアゾールスルホンアミド(TBBS)、N-シクロヘキシリ-2-ベンゾチアゾールスルホンアミド(CBS)、及びそれらの混合物からなる群から選択される、請求項1または2に記載の方法。

【請求項 4】

前記少なくとも 1 種の加流化促進剤は、フィラー、ゴムポリマー、およびシリカカップリング剤が全てが添加された後に、他の材料とは別個に混合工程において添加されることを特徴とする、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の方法によって製造されるゴム組成物。